

会報

こぶし

発行 花北地区
コミュニティ協議会
編集 総務企画部

やすらぎと活力のある 街づくりを目指して



花北地区コミュニティ協議会
会長 佐藤 吉一

昨年4月協議会の会長に就任してから早や1年が経過しました。協議会役員皆様の御尽力により計画通り事業を実施することが出来ました。特に交付金事業については各地区の利便性を図る事業は例年通りでしたが、昨年は地域全体の事業として「花北地区の歴史を学ぶ」を発行し関係者及び希望者に頒布することが出来ました。皆様から非常に好評を受けています。自分自身勉強してみても地域の繁栄ふりと先人の偉大な功績を認識し後世にも伝えて行く必要性を確信しました。今年度に入って、4地区協働の後川桜並木ライトアップ

事業も該当地域を延長した経緯もあり好評を受けており継続が重要です。併せて鳥谷ヶ崎公園の桜のライトアップ事業についても観桜会の皆様に好評を受けています。先日、当協議会主催の大運動会が桜台小学校の校庭を借用して盛大に開催され無事終了しました。普段あまり顔を合せる機会のない人達が一堂に会し、真剣に競技に取り組む姿勢に本当に感銘を受けました。これは地区全体の地域づくりの策として非常に有効な行事と確信します。優勝した四日町一丁目一区の皆様はもとより各地区の皆様本当にありがとうございます。

した。関係役員の皆様に感謝しています。

今後も役員の皆様と共に地域全体の新しい企画を考えていく所存でございます。例えば花北地区の古い写真集など皆様の御協力をお願いしながら発行も考えています。以上微力ですが精一杯務めていく所存です。今後ともよろしく御協力お願いいたします。

総務企画部会

部会長 箱崎 英喜

今年の総務企画部会の事業計画は、コミュニティ協議会の会報「こぶし」の発行（7月、11月、3月）です。又、秋の研修バス旅行は世界遺産となった平泉の中尊寺と毛越寺、それに国宝、重要文化財を含む三千点の資料を収蔵する讚衡蔵を見学します。

実施日は10月26日(金)を予定しています。定員は70名ですが多少オーバーしても大丈夫です。ご応募お待ちしております。

私は、花北地域全体を活性化する事業はないものかと、この一年間、考え続けてきました。しかし中々、これと云った事業が出てき

ませんでした。ですが諦めないで知恵を絞って花巻地域の活性化に資する事業を何とか提案してまいりたいと願っています。

以下に、経済産業省の新エネルギー基本計画案の一部抜粋して掲載します。「新計画案の素案の中で、再生エネルギーの主力化を進めて、原発の依存度を可能な限り低減するとした。温暖化対策を進めるため、二酸化炭素を出さないエネルギー構造に転換する必要性を強く訴えた。再生エネルギーは、世界的に発電コストが下がるなど、大きく変貌しているとして国内でも大量導入に向けて積極的に取り組むと明記」と提言を取りまとめた。

「太陽光発電のコストが過去七年間で七割以上低下した一方で原発の建設コストが一キロワット当たり、百万円近く（福島原発事故前の二倍）に上がる」と都留文化大学の高橋洋教授は試算しました。再生エネルギーの普及促進は、自分達が使う電気は自分達で作るといふ地産地消の意識の高揚や環境保全保護の向上、さらには地域活性化につながっていくと考えられます。